

年度	2026 年度
試験日	2025 年 9 月 28 日
研究科	商学研究科
課程	修士課程
専攻・コース等	商学専攻
入試制度	修士Ⅱ期一般入試
試験科目	専門科目

出題意図 及び 解答（評価）のポイント

【注意事項】

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWeb サイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

学士学位に相当する商学に関する基礎知識および研究能力を有し、自ら課題を発見したうえで調査・分析を行い一定の結論を導き出すことができる能力を、専攻分野に関する記述式の筆記試験を基に評価する。

1. 経営専修 経営領域

経営領域において必要な専門知識と応用力を問う。

2. マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

マーケティング領域において必要な専門知識と応用力を問う。

3. マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

国際ビジネス領域において必要な専門知識と応用力を問う。

4. 金融・保険専修 金融領域

金融領域において必要な専門知識と応用力を問う。

5. 金融・保険専修 保険領域

保険領域において必要な専門知識と応用力を問う。

6. 会計専修 財務会計領域

財務会計領域において必要な専門知識と応用力を問う。

7. 会計専修 管理会計領域

管理会計領域において必要な専門知識と応用力を問う。

8. 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域
ミクロ経済学領域において必要な専門知識と応用力を問う。

9. 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域
マクロ経済学領域において必要な専門知識と応用力を問う。

■解答例（評価）のポイント

「解答例」

特定の解答に誘導することを避けるため、解答例は示さない。

「解答（評価）のポイント」

1. 経営専修 経営領域

経営領域の主要な理論とテーマを題材に専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章が書けていること。

2. マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

ブランド、価格戦略、マーケティング・リサーチを題材に専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章が書けていること。

3. マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

国際ビジネス領域において必要な専門知識を説明し、事例を用いて自ら論理的に実証する能力を確認した。

4. 金融・保険専修 金融領域

企業の投資と証券価格に関して専門知識と応用力を有し、かつ分析・考察力をもつことを示していること。

5. 金融・保険専修 保険領域

保険制度及び企業のリスクマネジメントに関して専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章が書けていること。

6. 会計専修 財務会計領域

- ・連結の範囲に係る専門知識を有し、それについて正確な文章が書けていること。
- ・のれんに関する専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章が書けていること。

7. 会計専修 管理会計領域

資本予算、振替価格を題材に専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章が書けていること。

8. 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

- ・設問の意図（単一価格とグループ別価格の比較、追加の料金制度、余剰計算）を正しく把握し、必要な数値（価格、数量、利潤、消費者余剰、生産者余剰など）を漏れなく求めていること。
- ・単一価格とグループ別価格それぞれについて利潤最大化条件を適切に用い、計算過程と解答が整合的であること（単位、人数、固定費の扱いを含む）。
- ・子どもと大人で価格が異なる点を第3級価格差別として位置づけ、弾力性の計算（大小関係）と結論（どちらの価格を相対的に低くすべきか）が一貫していること。
- ・消費者余剰、生産者余剰、総余剰を定義に沿って正しく算出することができること。

9. 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

マクロ動学モデルを題材に専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章が書けていること。